

2025年度

授業科目	人体の構造と機能	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.人体を構成するさまざまな細胞と組織、器官の基本的な構造を略図を描いて理解する。					
2.細胞、組織、器官の正常な構造と機能を理解し、様々な病態を理解するため基礎知識を身につける。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	細胞、細胞の構造				講 義
2	組織と器官 上皮組織				講 義
3	組織と器官 結合組織				講 義
4	筋系				講 義
5	神経系				講 義
6	軟骨・骨系				講 義
7	血液				講 義
	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院				健康と病気のしくみがわかる	
図解ワンポイント解剖学 人体の構造と機能 サイオ出版				解剖生理学(島田、小林、	
ワンポイント問題集 解剖学 サイオ出版				渡辺 監訳)、西村書店	
生体のしくみ 標準テキスト第3版 新しい解剖生理 医学映像教育センター					
【 評価方法 】					
略図を描いて解答する問題を含む筆記試験の結果をもとに評価する					

2025年度

授業科目	解剖生理学Ⅰ	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1 単位 30 時間	
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有	
【 科目目標 】						
1. 人体の構造と機能を系統的に理解する。						
1)呼吸器系 2)循環器系 3)血液・造血器系						
【 内容 】						
回数	授業内容			授業方法	講師	
1	呼吸器系	呼吸器の構造と機能構造と機能	講 義	①		
2		内呼吸と外呼吸	講 義			
3		呼吸器と呼吸運動 肺気量	講 義			
4		ガス交換とガスの運搬	講 義			
5		呼吸運動の調節 肺循環	講 義			
6	循環器系	心臓の構造	講 義			
7		心臓の拍出機能	講 義			
8		心電図	講 義			
9		心周期	講 義			
10		末梢循環系の構造 血液の循環の調節	講 義			
11	血液・造血器系	血液の成分と機能 造形のしくみ	講 義	②		
12		リンパ系の構造と機能	講 義			
13	解剖見学					演 習
14						演 習
15	評価					
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】		
人体の構造と機能① 解剖生理学、呼吸器系、循環器系、血液・造血器系 医学書院						
【 評価方法 】						
筆記試験(100点)						

2025年度

授業科目	解剖生理学Ⅱ	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1 単位 30 時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 人体の構造と機能を系統的に理解する。					
1)消化器系 2)腎・泌尿器系 3)内分泌・代謝系 4)女性生殖器系 5)口腔歯科系					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	消化器系	消化器系序論	講 義	①	
2		食道・胃・十二指腸の構造と機能	講 義		
3		肝・胆・膵臓の構造と機能	講 義		
4		小腸・大腸の構造と機能	講 義		
5		消化器系のまとめ	講 義		
6	腎・泌尿器系	腎臓の構造と機能	講 義	②	
7		体液の調整	講 義		
8		排尿路の構造と機能 男性生殖器の構造と機能	講 義		
9	内分泌・代謝系	内分泌とホルモン	講 義	③	
10		内分泌の構造と機能 全身の内分泌腺と内分泌細胞	講 義		
11		ホルモン分泌の調整	講 義		
12	女性生殖器系	女性生殖器の構造と機能	講 義	④	
13		女性の生殖機能	講 義		
14	口腔歯科系	口腔の解剖	講 義	⑤	
15	評価				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
人体の構造と機能① 解剖生理学 医学書院					
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	解剖生理学Ⅲ		時期	第1学年 第1学期		単位数 (時間数)	1 単位 30 時間
講師名	非常勤講師					実務経験 有無	有
【 科目目標 】							
1. 人体の構造と機能を系統的に理解する。 1)骨・筋系 2)脳・神経系 3)感覚器系							
【 内容 】							
回数	授業内容				授業方法		講師
1	骨・筋系	骨格とは 骨の連結 骨格筋			講 義		①
2		体幹の骨格と筋			講 義		
3		上肢の骨格と筋			講 義		
4		下肢の骨格と筋			講 義		
5		頭頸部の骨格と筋 筋の収縮			講 義		
6	脳・神経系	神経系の構造と機能			講 義		②
7		脊髄と脳			講 義		
8		脊髄神経と脳神経			講 義		
9		脳の高次機能			講 義		③
10		運動機能と下行伝達路			講 義		
11		感覚機能と上行伝達路			講 義		
12	感覚器系	眼の構造と視覚			講 義		④
13		耳鼻咽頭の構造と機能			講 義		⑤
14		皮膚の構造と機能			講 義		⑥
15							
【 使用テキスト 】						【参考文献・紹介文献】	
人体の構造と機能1 解剖生理学、医学書院							
【 評価方法 】							
筆記試験(100点)							

2025年度

授業科目	生化学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.生命現象について分子レベルで理解する。					
2.生物を構成する様々な分子について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	アミノ酸とタンパク質				講 義
2	酵素①				講 義
3	酵素②				講 義
4	糖質の化学				講 義
5	糖質の代謝				講 義
6	脂質の化学				講 義
7	脂質の代謝				講 義
8	アミノ酸の代謝				講 義
9	核酸の役割				講 義
10	遺伝病と遺伝子工学				講 義
11	体液				講 義
12	ホルモン				講 義
13	ビタミン				講 義
14	恒常性と免疫				講 義
15	終了試験				筆記試験
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
わかりやすい生化学第5版 ヌーヴェルヒロカワ					
【 評価方法 】					
試験を行い、100点満点で採点する。60点以上を合格とする。					

2025年度

授業科目	栄養学	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 人間の健康を維持するために必要な食生活と栄養のあり方について理解する。					
2. 人間のライフサイクルと食との関わりを理解する。					
3. 疾病と栄養の関係を理解し、その人らしい食生活を送るために必要な知識と技術を習得する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	山形県の状況 栄養と栄養素 糖質の種類について				講 義
2	多糖質の種類と働き 脂質の種類と働き				講 義
3	タンパク質の種類と働き				講 義
4	ミネラル簿種類と働き				講 義
5	ビタミンの種類と働き 水の代謝 食物繊維の働き				講 義
6	エネルギー代謝(食品のエネルギー・基礎代謝と身体活動) 食事摂取基準				講 義
7	栄養素の消化と吸収 栄養状態の評価について				講 義・演 習
8	ライフサイクルにおける栄養 栄養ケア・マネジメント				講 義
9	ライフサイクルにおける栄養 栄養ケア・マネジメント				講 義・演 習
10	臨床栄養とは・病院食の意義および食形態				講 義
11	臨床栄養(高血圧等循環器および胃等消化器の疾病と食事療法)				講 義
12	同上(肝臓病・脂質異常症と食事療法)				講 義
13	同上(糖尿病と食事療法)				講 義
14	同上(糖尿病食品交換表の使い方)				講 義・演 習
15	同上(腎臓病と食事療法)				講 義
	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
①系統別看護講座 栄養学 人体の構造と機能(医学書院)					
②同上 栄養食事療法(医学書院)					
③その他講師準備の資料による					
【 評価方法 】筆記試験					

2025年度

授業科目	微生物学	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 微生物の種類と特徴を理解する。					
2. 微生物が生体に及ぼす影響と生体の防御反応について理解する。					
3. 感染症の予防と治療法について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	感染症を起こす病原体の種類（寄生虫、真菌、細菌、ウイルス）				講 義
2	感染の成立と経過（病原体と宿主の関係、感染・発病を決める因子）				講 義
3	感染症発生の三大要因（感染源、感染経路、感受性宿主）				講 義
4	感染症の現状（新興・再興感染症、人獣共通感染症、院内感染症）				講 義
5	細菌の形態・構造と分類				講 義
6	細菌の生活現象（栄養と代謝、発育・増殖と環境の影響）				講 義
7	細菌の病原性（組織への侵入と外毒素・内毒素）				講 義
8	細菌感染症の治療と予防（抗菌薬と薬剤耐性菌）				講 義
9	ウイルスの形態・構造と分類				講 義
10	ウイルスの感染と増殖				講 義
11	ウイルスの病原性（潜伏感染と慢性感染、血液媒介感染）				講 義
12	ウイルス感染症の治療と予防				講 義
13	感染症の予防と対策（滅菌と消毒、予防接種）				講 義
14	免疫と生体防御機構（自然免疫と獲得免疫）				講 義
15	試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂3版 南山堂				学習に必要なプリントを作成して、授業で資料として配布します。	
【 評価方法 】					
筆記試験の成績により評価する。					

2025年度

授業科目	病理学	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 病気の原因、発生機序を理解する。					
2. 病気になった人間の身体に生じている変化を理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	はじめに 病気、老化、死と病理学				講 義
2	細胞障害・再生-変性、酸化ストレス、鉄代謝、細胞と組織の形成				講 義
3	細胞傷害、壊死と細胞死				講 義
4	炎症(1)－生体反応、制御因子				講 義
5	炎症(2)－急性・慢性炎症の違いと形態像				講 義
6	免疫(1)－免疫学の概要、免疫アレルギー				講 義
7	免疫(2)－自己免疫疾患、免疫不全				講 義
	循環障害-浮腫、充血とうっ血、塞栓と梗塞、ショック				
	腫瘍(1)－腫瘍とは、腫瘍の分類と種類				
	腫瘍(2)－増殖、悪性度と病期、発生のメカニズム				
	生活習慣病の原因と結果				
	生活習慣病の改善				
	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
はじめの一步のイラスト病理学 第2版 羊土社					
【 評価方法 】					
出席日数と定期試験により判定					

2025年度

授業科目	疾病論Ⅰ	時期	第1学年 第1学期	単位数 (時間数)	1 単位 30 時間
講師名	①学校長 ②③非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 疾病の原因・診断・治療について理解する。 1)呼吸器系疾患 2)循環器系疾患 3)血液・造血器系疾患					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	呼吸器系疾患の 原因・診断・治療	肺がん	講 義	①	
2		肺気腫	講 義		
3		肺結核	講 義		
4		呼吸不全	講 義		
5		肺炎	講 義		
6		気管支喘息	講 義		
7		閉塞性肺疾患	講 義		
8	循環器系疾患の 原因・診断・治療	症候論	講 義	②	
9		高血圧	講 義		
10		冠動脈性心疾患 (狭心症・心筋梗塞)	講 義		
11		心不全	講 義		
12	血液・造血器系疾 患の原因・診断・ 治療	貧血	講 義	③	
13		白血球系疾患	講 義		
14		播種性血管内凝固症候群(DIC) ヒト免疫不全ウイルス感染症(HIV)	講 義		
15	終了試験			筆記試験	
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
系統看護学講座成人看護学② 呼吸器、医学書院 系統看護学講座成人看護学③ 循環器、医学書院 系統看護学講座成人看護学④ 血液・造血器、医学書院					
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	疾病論Ⅱ	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 疾病の原因・診断・治療について理解する。					
1) 消化器系疾患 2) 腎・泌尿器系疾患 3) 内分泌・代謝系疾患 4) 女性生殖器系疾患 5) 口腔疾患					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	消化器系疾患の 原因・診断・治療	食道がん	講 義	①	
2		胃がん 胃十二指腸潰瘍	講 義		
3		肝炎 肝硬変	講 義		
4		肝がん 胆石	講 義		
5		膵炎 膵がん	講 義		
6	腎・泌尿器系疾患 の原因・診断・治 療	泌尿器系疾患	講 義	②	
7		腎疾患	講 義		
8		腎不全	講 義		
9	内分泌・代謝系疾 患の原因・診断・	視床下部・下垂体前葉系疾患	講 義	③	
10		視床下部・下垂体後葉系疾患	講 義		
11		代謝疾患	講 義		
12	女性生殖器系疾 患の原因・診断・ 治療	乳がん 子宮筋腫 子宮がん	講 義	④	
13		子宮内膜症 不妊症 性感染症	講 義		
14	口腔疾患の原因・ 診断・治療	齲歯 歯周組織の疾患	講 義	⑤	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
系統看護学講座成人看護学⑤ 消化器、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑧ 腎・泌尿器、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑥ 内分泌・代謝、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑪ アレルギー、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑨ 女性生殖器、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑮ 歯・口腔、医学書院					
【 評価方法 】 筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	疾病論Ⅲ	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	②学校長 ①③④⑤⑥非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 疾病の原因・診断・治療について理解する。 1)骨・筋系疾患 2)脳・神経系疾患 3)感覚器系疾患					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	骨・筋系疾患等の 原因・疾患・治療	骨粗鬆症 骨折 捻挫・打撲 腱・筋断裂	講 義	①	
2		変形性関節症 頸椎損傷	講 義		
3		椎間板ヘルニア 腰部脊柱管狭窄症	講 義		
4		骨腫瘍 側弯症 腱鞘炎	講 義		
5		膠原病 リウマチ	講 義		
6	脳神経系疾患の 原因・疾患・治療	神経内科総論	講 義	②	
7		脳血管障害	講 義		
8		変性疾患	講 義		
9		神経感染症 内科疾患による神経障害	講 義		
10		認知症	講 義		
11		脳腫瘍	講 義	③	
12	感覚器系疾患の 原因・疾患・治療	皮膚疾患	講 義	④	
13		耳鼻疾患	講 義	⑤	
14		眼疾患	講 義	⑥	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
系統看護学講座成人看護学⑩ 運動器、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑦ 脳・神経、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑫ 皮膚、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑭ 耳鼻咽喉頭、医学書院 系統看護学講座成人看護学⑬ 眼、医学書院					
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	疾病論Ⅳ	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 小児期疾病の原因・診断・治療について理解する。					
2. 疾病の病態生理を学び、応用力のある小児科学センスを身につける。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	看護学生が知っておくべき小児科のトピックス			講 義	①
2	先天異常・新生児疾患（新生児仮死、RDS、TTN、MAS）			講 義	
3	先天異常・新生児疾患（高ビリルビン血症、PVL）			講 義	
4	内分泌・代謝系疾患(先天性甲状腺機能低下症)			講 義	
5	内分泌・代謝系疾患(先天性副腎皮質過形成、糖尿病 等)			講 義	
6	呼吸器・循環器系疾患(気管支喘息、クループ)			講 義	
7	呼吸器・循環器系疾患(先天性心疾患、川崎病)			講 義	
8	感染症(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・溶連菌感染・髄膜炎 等)			講 義	
9	消化器・泌尿器系疾患(食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症、腸重積症)			講 義	
10	消化器・泌尿器系疾患(溶連菌感染後糸球体腎炎、ネフローゼ症候群)			講 義	
11	妊娠の異常の原因・診断・治療(流産・早産・感染症・常位胎盤早期剥離・悪阻 等)			講 義	②
12	妊娠の異常の原因・診断・治療(妊娠高血圧症候群・前置胎盤・多胎妊娠 等)			講 義	
13	分娩の異常の原因・診断・治療(前期破水・帝王切開術・胎児機能不全・弛緩出血 等)			講 義	③
14	産褥の異常の原因・診断・治療(肺塞栓・復古不全・産褥熱・乳腺炎・産後うつ 等)			講 義	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院				中沢誠:南江堂	
母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				CDによる聴診トレーニング (小児心音編)	
【 評価方法 】					
筆記試験 100点					

2025年度

授業科目	疾病論Ⅴ	時期	第2学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.疾病の原因・診断・治療について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	精神症状論と状態像①			講 義	①
2	精神症状論と状態像②			講 義	
3	統合失調症			講 義	
4	気分障害(うつ病、双極性障害)			講 義	
5	神経症性障害・ストレス関連障害			講 義	
6	摂食障害、睡眠障害、パーソナリティ障害			講 義	
7	神経発達障害、アルコール関連障害			講 義	
8	認知症、症状精神病			講 義	
9	てんかん① 疫学・定義・病型分類			講 義	②
10	てんかん② 診断分類と発作型分類と発生収録ビデオ供覧			講 義	
11	精神療法、社会療法			講 義	①
12	薬物療法①			講 義	
13	薬物療法②			講 義	
14	総まとめ、重要ポイント解説			講 義	
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
精神看護学① 精神看護の基礎 医学書院				・「精神科治療学」 ・日本医師会雑誌	
【 評価方法 】					
・筆記試験					

2025年度

授業科目	薬理学 I	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 疾患と関連づけて代表的な薬物の薬効、作用機序、副作用などについて理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	総論				講 義
2	総論				講 義
3	末梢神経				講 義
4	中枢神経				講 義
5	中枢神経				講 義
6	心血管系				講 義
7	心血管系				講 義
8	感染症				講 義
9	抗がん薬 まとめ				講 義
10	免疫 抗アレルギー 抗炎症				講 義
11	呼吸器 消化器 生殖器				講 義
12	代謝 皮膚 眼科				講 義
13	消毒薬				講 義
14	漢方 輸液 まとめ				講 義
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
疾病の成り立ちと健康の回復③ 薬理学 医学書院					
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	薬理学Ⅱ	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 臨床で必要な薬物管理、添付文書の読み方、相互作用、服薬指導の方法、治験の意義について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	相互作用				講 義
2	治験				講 義
3	薬品管理				講 義
4	情報・添付文書				講 義
5	服薬指導				講 義
6	感染防止				講 義
7	DDS 、 まとめ				講 義
8	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
疾病の成り立ちと健康の回復3 薬理学					
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	臨床心理学	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 臨床心理学の基本的な考え方を理解する。					
2. 精神障害におけるアセスメントと介入を理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	感覚、知覚の心理 学習、記憶の心理 感情、動機の心理				講 義
2	性格、知能の心理 発達 of 心理 (パーソナリティの障害と成熟)				講 義
3	発達 of 心理 (青年期、成人期) 社会集団の心理				講 義
4	社会集団の心理 健康の心理と人間理解 (ストレスのシステム理論)				講 義
5	健康の心理と人間理解 (看護職員の心理) 臨床心理学の基礎とアセスメント				講 義
6	臨床心理学の基礎とアセスメント カウンセリングと心理療法				講 義
7	カウンセリングと心理療法				講 義
	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
看護学生のための心理学 医学書院					
【 評価方法 】					
筆記試験					

2025年度

授業科目	診断治療論	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	2単位 45時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.疾病の診断をするための検査について理解する。					
2.主な治療(手術療法、化学療法、放射線療法)について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	臨床検査とその役割 臨床検査の流れと看護師の役割			講 義	①
2	一般検査 検体採取時の注意点 国試における注意点箇所			講 義	
3	血液学的検査 WBC分類の説明 貧血			講 義	
4	生化学検査 検査種類項目説明 性感染症の現状			講 義	
5	免疫・血清・輸血 内分泌 病理			講 義	
6	微生物検査 微生物検査の流れ グラム染色分類 感染症			講 義	
7	生理検査 心電図 負荷心電図 終講試験ワンポイント			講 義	
8	放射能と放射線 単位			講 義	②
9	X線検査 CT・MRI検査			講 義	
10	血管造影・IVR・超音波検査			講 義	
11	核医学検査			講 義	
12	放射線治療			講 義	
13	人体への影響・防護			講 義	
14	健康年齢と画像診断			講 義	
15	手術療法 総論(手術とは)			講 義	③
16	手術侵襲と生体反応			講 義	

2025年度

授業科目	診断治療論	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	2単位 45時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1.疾病の診断をするための検査について理解する。					
2.主な治療(手術療法、化学療法、放射線療法)について理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容			授業方法	講師
17	麻酔			講 義	③
18	術後の疾病管理			講 義	
19	外科基本手技			講 義	
20	外科基本手技、処置			講 義	
21	がん化学療法概論			講 義	④
22	がん化学療法の看護			講 義	
	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
①別巻 臨床検査 ②別巻 臨床放射線医学 ③別巻 臨床外科看護総論 ④別巻 がん看護学				ナースのための感染症対策マニュアル	
【 評価方法 】					
筆記試験 ①臨床検査 30点 ②放射線医学 30点 ③手術療法 30点 ④化学療法 10点					

2025年度

授業科目	臨床カウンセリング	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. カウンセリングの基本を知る。					
2. 演習を通してカウンセリングに必要なラポールの技術を身につける。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	・第3章 心理的ケアのための基本技法をめぐって ・オリエンテーション カウンセリングの概論				講義・演習
2	・第4章 技法A :リソースの発見				講義・演習
3	・第4章 技法B :傾聴と共感				講義・演習
4	・第4章 技法C :チューニング				講義・演習
5	・第4章 技法D :ポジティブメッセージ				講義・演習
6	・第4章 技法E :リフレーミング				講義・演習
7	・第4章 技法F :アンカリング				講義・演習
8	筆記試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
ナースだからできる5分間カウンセリング 看護現場で役立つ心理的 ケアの理論と実際 医学書院				授業の中で紹介する	
【 評価方法 】					
毎回のリフレクションシート 35点					
筆記試験 65点					

2025年度

授業科目	健康管理論	時期	第学1年 第2学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 衛生の主要指標を通して、健康に関する動向を理解する					
2. 保健医療福祉制度について理解する					
3. 個人・集団・地域における健康管理の特徴と方法について理解する					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	公衆衛生とは(1)公衆衛生とは何か。公衆衛生の歴史としくみ				講 義
2	公衆衛生とは(2)公衆衛生の活動対象としくみ				講 義
3	集団の健康を捉えるための手法 疫学 保健統計				講 義
4	環境と健康				講 義
5	感染症とその予防対策				講 義
6	国際保健 地域における公衆衛生の実践 (1)公衆衛生看護とは				講 義
7	地域における公衆衛生の実践 (2)母子保健				講 義
8	地域における公衆衛生の実践 (3)成人保険				講 義
9	地域における公衆衛生の実践 (4)高齢者保健				講 義
10	地域における公衆衛生の実践 (5)精神保健				講 義
11	地域における公衆衛生の実践 (6)歯科保健(7)障害者、難病保健				講 義
12	学校と健康				講 義
13	職場と健康				講 義
14	健康危機管理・災害保健				講 義
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
①健康支援と社会保障制度2 公衆衛生 医学書院				適宜 紹介する	
②公衆衛生がみえる メディックメディア					
【 評価方法 】					
試験の評価は、100点満点とし、60点以上を合格とする					

2025年度

授業科目	保健統計学	時期	第3学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 15時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 基本的な統計処理の方法について理解する。					
2. 個人または集団の健康に関する統計的な見方を理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	統計学の基本的な考え方、データの種類、代表値				講 義
2	統計データのまとめ方;入力方法、度数分布表、図示法				講 義・演 習
3	統計データのまとめ方;一次集計				講 義・演 習
4	統計学的検定の基礎				講 義・演 習
5	統計学的検定の応用				講 義・演 習
6	人口統計と保健統計1				講 義
7	人口統計と保健統計2				講 義
8	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
①ていねいな保健統計学 羊土社				量的な看護研究のきほん	
②国民衛生の動向				医歯薬出版	
【 評価方法 】					
筆記試験(100点)					

2025年度

授業科目	医療情報科学	時期	第1学年 第2学期	単位数 (時間数)	2単位 45時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 情報の収集・加工・出力という一連の流れを理解する。					
2. Word、Excel、PowerPointの基本的な操作法を習得する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	講義内容説明・情報とは				講 義
2	情報とデータの違い				講 義・演 習
3	班課題発表				講 義・演 習
4	班課題のテーマ選定 ブレーンストーミング(拡散的思考)				講 義・演 習
5	班課題のテーマ選定 (収束的思考)				講 義・演 習
6	情報ソース、その速報性と信憑性、SNSの使用について				講 義・演 習
7	EBN(根拠に基づく看護) 学術雑誌散見				講 義・演 習
8	班課題 進捗報告				講 義・演 習
9	看護学と情報学の融合:クリティカルパス				講 義・演 習
10	看護学と情報学の融合:医療情報システム・電子カルテ				講 義・演 習
11	班課題 レイアウト・掲載内容吟味				演 習
12	PC基礎:Windowsに慣れる				演 習
13	Word基礎Ⅰ:文字の装飾、加工				演 習
14	Word基礎Ⅱ:レイアウト、印刷、図形描画				演 習
15	Word応用Ⅰ:課題				演 習
16	Excel基礎Ⅰ:セルの概念、書式設定				演 習
17	Excel基礎Ⅱ:関数とグラフ				演 習
18	Excel応用Ⅰ:課題				演 習
19	PowerPoint基礎Ⅰ:プレゼンテーションとは				演 習
20	PowerPoint基礎Ⅱ:効果、資料作成				演 習
21	PowerPoint応用:課題				演 習
22	班課題、相互評価 結果発表				講 義
23	情報とは:多様な視点				講 義
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院					
【 評価方法 】					
情報の収集・加工・出力に関するグループワーク、					
Word、Excelの単体課題または複合課題					

2025年度

授業科目	社会福祉と法律	時期	第2学年 第1学期	単位数 (時間数)	1単位 30時間
講師名	非常勤講師			実務経験 有無	有
【 科目目標 】					
1. 社会保障についての考え方を理解し、社会保障制度と関連する法規について理解する。 2. 社会福祉活動の実際を実践例を通して理解する。					
【 内容 】					
回数	授業内容				授業方法
1	社会福祉を学ぶ意味				講 義
2	社会福祉を学ぶ意味				講 義
3	社会保障制度と社会福祉				講 義
4	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向				講 義
5	現代社会の変化と医療保障				講 義
6	医療保障制度について				講 義
7	地域格差と問題点 介護保障				講 義
8	所得保障				講 義
9	公的扶助				講 義
10	障害者福祉と高齢者福祉				講 義
11	社会福祉の分野とサービス(障害者福祉)				講 義
12	社会福祉の分野とサービス(児童福祉)				講 義
13	社会福祉実践と医療・看護				講 義
14	社会福祉の歴史				講 義
15	終了試験				
【 使用テキスト 】				【参考文献・紹介文献】	
①系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 医学書院 ②社会福祉小六法2024(令和6年版) ミネルヴァ書房					
【 評価方法 】					
筆記試験					